

依存症を知るセミナー

「生きづらさ」から「生きやすさ」へ

2026 3/1日 14:00 → 15:00 (13:30 開場)

郡山市中央公民館 第1和室

参加無料
予約不要

このセミナーは、依存症当事者やご家族、さらに医療・福祉・行政等の分野で依存症に関わる方にご参加いただきたい内容です。

依存対象をどうにか手放したいと苦しみ、手放してもなお心身に残り続ける「生きづらさ」。持って生まれたもの、育った環境、社会が与えたものなど、様々な要素がもとになり生きづらさを招き、偶然出会ったアルコールやギャンブル、ゲーム等の対象にハマる。依存症者はこうして生きづらさから脱出できない状態となります。私たち依存症当事者は、この生きづらさとともに歩み、しかし、いつしか新しく生きる手段に出会い行動することで、「生きやすさ」の入口に立ちました。今回のセミナーでは当事者という立場で、どのように「生きづらさ」から「生きやすさ」に変容していったか、ありのままにお伝えします。



渡辺 教人 特定非営利活動法人ともす舎 代表理事 / 株式会社ともす 代表取締役



1986年福島県三春町出身。

少年時代よりアルコール、薬物の問題があったが場所を変え、人を変えの繰り返しで20代前半で底つきを味わい病院通いも出来なくなり、他県の依存症施設に繋がる。

日本、海外の施設を利用し、沖縄県で依存症施設の職員、独立を経て地元福島県でも飲食店から会社を設立し依存症に関わらず生きづらさを抱えた人々の居場所づくりの活動をしている。

現在はシェアハウスや自立、就労、独立の支援に携わる。

山浦 浩人 特定非営利活動法人ともす舎 理事



1996年福島県会津若松市出身。

幼少期より生きづらさを抱え現実逃避の為にゲームの連続使用の問題があった。都内有名美容室、郡山市内では飲食店の店長を任されるなど日常の生活はこなせるが生きづらさが消えずゲーム、オンラインカジノで借金をつくるなど生きづらさは増す一方だった。

2022年ともすの共同生活に加わり生き方の見直しが始まり現在は行動依存の方々を中心に自助グループ開催、NPO法人で新しい就労の支援を手がけている。

会場情報



郡山駅からバス11番線「郡山中央図書館」下車徒歩3分
車でお越しの場合は「太陽メンテナンス麓山立体駐車場」をご利用ください。

イベント終了後に個別相談会を開催します

依存症や生きづらさでお困りごとがあるご本人やご家族を対象に個別で相談をお伺いします。
右のQRから事前申込みが可能です。



主催 / お問い合わせ

024-907-3303

特定非営利活動法人ともす舎

info@tomosulife.com